

心配です 地球環境

梅雨入り後も、関東地方は、どちらかといえば少雨傾向の日が続いていますが、九州は大変なことになっています。平成27年9月に、栃木や茨城に甚大な被害をもたらしたと同じ「線状降水帯」による大雨。被害に遭われた皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、不幸にも命を奪われた方々のご冥福をお祈りいたします。一昨年、あの積乱雲の発生源が数十km西だったら、渡良瀬川流域が、大洪水になっていたかもしれません。

6月末に、国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所から書籍が贈られてきました。70年前のカスリーン台風のことを書いた(描いた)ものです。私が生まれる以前の出来事ですが、両親からは、大雨の度、台風の度に、このときの大変な有様を何度も聞きました。テレビに映し出された九州の映像と70年前に桐生や足利を襲った渡良瀬川の氾濫の様子が、頭の中で重なりました。児童用として、各学級へ1セット配付してあります。また、図書室にも配置しました。

大自然の猛威と言いますが、このところの気象は極端で、尋常ではありません。私には、地球が人類に対する警告を発しているように思えて、とても心配です。「防災教育」というと、地震を想定しがちですが、桐生市の場合、河川の氾濫も大きな脅威です。そのときどうする!桐生市HP「いざというときに・防災」を、確認しておく必要がありますね。



暑いですが 学校は楽しいところです



梅雨の晴れ間に、1年生が《サンドアート》に挑戦中です。どんな芸術作品が生まれたやら。臨海子供会に行けば、もっと巨大なものが作れますよ。早く3年生になりたい!?

児童集会 [図書委員会] 6/30(金)

右の『ガンピーさんのふなあそび』をもとに、本を紹介する劇を披露しました。練習の途中、ちょっとつらくて、くじけそうになったこともあったとのことですが、「自分たちでやりたいと言い出したことだから最後まで頑張る」と、稽古を積んで本番に臨んだそうです。とても楽しく見ることができ、この本を読んでみたいと思った児童がたくさんいたと思います。



ところで、この本は《美和文庫》の本です。美和文庫は、本校在学中に病気で他界した安美和[アミワ]さんのご両親が、読書好きだった美和さんを偲び、西小の児童が本をたくさん読んでくれるようにと、毎年、寄贈してくださっている本です。図書委員会新聞によれば、現在、2245冊あるそうです。図書室の豊が敷いてあるところに並んでいます。ぜひ、たくさん読んでください。



5年生は本を紹介するために
国語でこんな学習をしました



廊下に掲示された、ポスターやポップ、帯を興味深そうに6年生が眺めています。



お楽しみの七夕献立

